

Ⅵ これからの塩川町

1. 住みよい町をめざして

昭和29年7月（約46年前）、一つの町と3つの村とが合わさって、わたしたちの町「塩川」ができました。

ゆたかな^{でんえんちたい}田園地帯と「山」、「川」をはじめとする水と緑^{みどり}のゆたかな自然^{しぜん}かんきょうを生かしながら、わたしたちは、「ゆとりとうるおいのある住みよい町」をめざして、町づくりに^{どりよく}努力していかなければなりません。

(1) 住みよい町づくり

町では、住みよい町づくりのために道路や水道・^げ下水道^{ととの}を整えることや町営住宅^{ちやうえいじゆうたく}を建てることなどをすすめています。

道路は、町全体の97%近くがほそうされ、^{こうつうりよう}交通量も大変^{たいへん}ふえてきています。そこで、安全に^{くば}気を配り、みんなが安心して利用できる道路づくりを考えています。また、国道121号にそって、会津若松と喜多^{じゅうかんきた}方をむすぶ「^{けいかく}会津縦貫北道路」の計画もすすめられています。



(しおかわ^{ふきん}大橋付近の道路)